

「プログラミング基礎 (C++)」成績評価基準

評価項目	レベル 1 (改善が必要)	レベル 2 (もう少し努力)	レベル 3 (目標達成)	レベル 4 (すばらしい)	重要度
ソフトウェア開発の手順理解と実践	参考資料を見ながらならば、手順に沿って作業できる	参考資料を見なくても作業でき、コンパイルエラーを修正できる	レベル 2 に加え、実行エラーを修正できる	レベル 3 に加え、ソフトウェアのテストと改良ができる	10%
問題の分析とコードへの置き換え	データと演算の扱いを理解している	処理に必要な変数の宣言・式・標準入出力の記述ができる	レベル 2 に加え、命令文を適切な順序で処理させられる	レベル 3 に加え、演算子や関数呼び出しを使い分けられる	25%
制御構文の利用	基本的な制御構文の種類と動作を理解している	レベル 1 に加え、選択と繰り返しを使い分け、正しい文法で記述できる	レベル 2 に加え、複数の制御構文をネストで組み合わせて利用できる	レベル 3 に加え、複雑な処理の流れを制御構文で記述できる	25%
データ構造とポインタ	配列を扱える	配列と制御構文を組み合わせ、効率的なデータ処理ができる	レベル 2 に加え、構造体を扱える	レベル 3 に加え、ポインタを扱える	20%
関数・オブジェクト指向の理解と実践	関数の概念を理解している	レベル 1 に加え、オブジェクト指向の概念を理解している	レベル 2 に加え、関数の記述ができる	レベル 3 に加え、クラスの定義と呼び出しを記述できる	20%